

2020年3月30日

各 位

会 社 名 株式会社ゴルフダイジェスト・オンライン
 代表者名 代表取締役社長 石坂 信也
 (コード番号 3319 東証第一部)
 問合せ先 取締役執行役員最高財務責任者 西野 洋
 (TEL. 03-5656-2865)

当社取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社グループは、取締役会の高い実効性確保によるガバナンス強化と企業価値の向上を目的に、取締役会の実効性の分析・評価を毎年実施しております。

2020年12月期(2020年1月1日～2020年12月31日)の取締役会評価においては、その実効性を中立的・客観的に検証するため、独立性を有した第三者評価機関による取締役・監査役に対する自己評価アンケートを実施いたしました。また、その集計・分析結果に基づき全役員により取締役会の実効性に関する分析・評価を実施いたしました。その概要につき、以下のとおりお知らせいたします。

記

1. 評価方法と実施概要

社外を含む取締役及び監査役全員に対して、無記名方式アンケートを実施し、自己評価を行いました。なお、第三者機関には、評価項目の設定にかかるアドバイス、集計・分析を依頼しております。

対象者(回答者)	全取締役7名(社外取締役4名含む)、全監査役3名(社外監査役2名含む)、合計10名
実施時期	2020年12月～2021年2月(第三者機関の集計・分析期間含む)
評価対象期間	2020年12月期(2020年1月～2020年12月)に開催された当社取締役会全24回(うち書面開催9回)
アンケート質問概要(大項目)	①構成 ②運営 ③議論 ④モニタリング機能 ⑤取締役のパフォーマンス ⑦取締役・監査役に対する支援体制 ⑧トレーニング ⑨株主(投資家)との対話 ⑩自身の取組み ⑪総括 (全40問) 各項目ごとに、5段階評価による設問と自由記載による設問を設定

2. 分析・評価結果の概要

上記評価アンケートに対する回答結果として、以下の3項目を除き、比較的高く評価されていることから、当社取締役会の実効性については概ね適切に確保されていると評価しております。

- ① 「取締役会の構成員の多様性（知識・経験・専門性、ジェンダー、国際性等）」については、他の項目と比べ低く評価されております。特に海外ビジネスの拡大に伴い、国際的な会計やビジネスに精通した社外取締役の確保や、ジェンダーの観点での人選が必要であると認識しております。
- ② 「役員に求められているトレーニング（役割・責務に対する必要な知識の習得等）の機会の充足」については、他の項目と比べ低く評価されております。時流に応じて変化する取締役の役割や責務、米国における経営管理上必要な知識や情報等を随時更新していく必要があると認識しております。
- ③ 「株主（投資家）との対話」について、他の項目に比べ低く評価されております。株主・投資家様との個別対話は概ね対応できていると評価しておりますが、投資家様からのご意見等の取締役会へのフィードバック及びこれに対する議論が充分でないと認識しております。

3. 実効性の向上に向けた今後の取組みについて

- ① 「取締役会の多様性」について、2021年3月開催の定時株主総会において、新たな社外取締役として多様性を備えた取締役が就任し、一定の改善が図られております。また、今後は、取締役の指名・報酬に関する任意の諮問委員会の設置を検討し、当社の事業戦略や経営戦略において必要なスキルや報酬体系の検討・改善等により、取締役の更なる多様化、実効性の強化を図ってまいります。
- ② 「役員に求められているトレーニングの機会の充足」について、従前から行っている法律やガバナンスに関する専門家による講義や研修等に加え、各取締役・監査役が必要とする内容に関して社内トレーニングや外部セミナー、外部との交流等を含めて実施検討してまいります。
- ③ 「株主（投資家）との対話」について、国内外の株主・投資家様への情報発信の充実化、株主・投資家様からのご意見の取締役会へのフィードバック及びこれに対する議論の深化を図ってまいります。

当社取締役会は、今回の分析・評価結果及び各役員からの意見等を踏まえ、上記の取組事項に適切に対応することに加え、引き続き取締役会の実効性の維持・向上に取り組むことで、取締役会の更なる実効性の確保、ガバナンスの強化と企業価値の向上に努めてまいります。

以上